

令和3年10月27日

保護者様

丹波篠山市立古市小学校  
校長 荻野 孝幸

## 学力向上に向けて

今年「全国学力・学習状況調査」「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」の2つの調査がありました。その結果をどのようにとらえ、指導に生かしているのかについてお知らせします。

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生を対象に5月に実施しました。調査内容は、教科に関する調査（国語・算数）と生活習慣・学習環境等に関する質問調査の2つです。目的は、「児童の学習状況を把握・分析し、教育施策や指導に生かす」というものです。

一方、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は小学校3，4，5年生を対象に実施しました。調査した内容は、教科に関する調査（国語・算数）と生活習慣調査の2つです。ねらいは、「学習指導要領に示されている内容について児童生徒の定着状況を把握し、指導計画の見直しや指導方法の工夫改善に生かす」というものです。

この調査結果は児童の学力のすべてを表したものとはいえませんが、学校全体で取り組んできたこれまでの学習の成果と課題を見ることができると考えています。保護者の皆様にお知らせし、一緒になって取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をよろしく願います。なお、個別の調査結果は、3，4，5年生については1学期末の個人懇談でお伝えしています。6年生については2学期末の個人懇談でお伝えします。

### 【全国・丹波篠山市学力学習状況調査結果の概要】

#### 【教科に関する調査】

#### （丹波篠山市学力調査 3，4，5年生）

※目標値：学習指導要領に示された内容について、項目ごとに正答できることを期待した児童の割合を示します。この目標値を基に学力の定着度を見ています。

#### （3年生）

国語は「言葉の特徴や使い方」の項目は概ね目標値を達成していましたが、「話を聞き取ること」や「書くこと」の項目は目標値を下回りました。算数では、「データの活用」の項目は目標値を上回りましたが、「数と計算」と「図形」で下回りました。

#### （4年生）

国語はほとんどの項目で概ね目標値を達成しています。「言語文化に関すること」と「話すこと・聞くこと」の項目で目標値を上回りました。算数は項目ごとに差がでました。「図形」と「測定」の項目で目標値を上回りましたが、「数と計算」の項目では下回りました。

#### （5年生）

国語は項目ごとに差がでました。「言語文化に関すること」や「情報の扱い方に関すること」の項目は目標値を上回りましたが、「書くこと」の項目で下回りました。算数も項目でやや差がでましたが、おおむね目標値に近い結果となりました。「図形」と「データの活用」では目標値を上回り、「数と計算」と「変化と関係」では下回りました。

また、国語では、3，4，5年生とも「主体的に学習に取り組む態度」の定着に課題があり、算数では、3，5年生は「知識・技能」の定着に、4年生は「思考・判断・表現」の定着に課題が残ることが分かりました。

#### （全国学力・学習状況調査 6年生）

【国語】：ほとんどの項目で全国平均を上回っています。特に「言葉の使い方」と、「話すこと・聞くこと」の項目で全国平均を大きく上回っています。しかし、「書くこと」の項目で全国平均をやや下回っており、書く力の定着が課題です。

【算数】：すべての項目で全国平均を上回っており、しっかり学力が身についています。特に「数と計算」と「図形」では全国平均を大きく上回っています。その他「測定」「変化と関係」「データの活用」の項目でも良好な結果がでています。

## 〔学習や生活習慣に関する調査 生活習慣状況調査(3, 4, 5年生)、学習状況調査(6年生)〕

### ○学習習慣

家庭で計画を立て、予習・復習をしている児童の割合が、全国平均に比べて同程度かやや低い傾向にあります。自ら進んで学ぶ姿勢、「学習習慣づくり」を各ご家庭とも連携しながら進めていきたいと思えます。

### ○基本的な生活習慣

朝食を毎日食べている児童の割合は高いですが、決まった時刻に寝ている児童の割合は、学年により差があり、遅くまで起きている子もいるようです。「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みを継続して取り組んでいきます。

### ○規範意識

「学校のきまりを守る」「困った人がいると助ける」「いじめはいけない」の回答は、どの学年も全国平均より上回っており、規範意識は身につけているといえます。

### ○地域や社会の出来事・問題への関心

高学年ほど社会の出来事や問題に関心を持っている割合が高く、新聞やネットニュースを読んでいる子が多いです。

### ○テレビやビデオ、ゲームの時間

テレビやビデオ、ゲームの時間が、2時間以上3時間以内の子が多いです。特に高学年に多いです。中には4時間以上と答えた子もいます。長時間の使用にならないように、家庭と連携しながら指導していききたいと思えます。

### ○自尊感情・自己肯定感

「自分は家族や友だちから愛されている」「頑張ったときほめてくれる」「自分には良いところがある」「夢がある」などと回答した割合は全国平均より高い結果がでています。今後も様々な場を通じて、一人一人の良さを認め合い、自尊感情や自己肯定感を育む教育活動を進めていきます。ご家庭でのご支援もよろしくお願ひします。

## 【学力向上、課題解決のための取組】

学年により差は見られますが、全体として、概ね学力の定着は見られます。落ち着いて学習に取り組んでいること、保護者・地域の方のご理解とご協力をいただいていることが、学力定着につながっていると考えています。

しかし、いくつかの項目で課題も残っています。学力をさらに向上させるために、引き続き、以下のような取組を推進してまいりますので、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

### 1 学習規律の定着を図ります。

- ・「時間を守る」「机のまわりを整頓する」「忘れ物をしない」などの定着を進めます。
- ・授業中は姿勢や返事、発表の仕方など、学習態度について育んでいきます。

### 2 指導方法の改善をめざします。

- ・適切なノートを使い方や調べ方、発表の仕方、聴き方、話し合い方を指導します。
- ・家庭学習や自主学習の仕方等を指導します。

### 3 「わかる」授業を展開します。

- ・「めあて」を意識させ、児童が関心を持って主体的に学ぶ授業づくりを進めます。
- ・実験や観察など、体験活動を多く取り入れます。
- ・一人一人のつまづきを把握し、個に応じた指導を進めます。

### 4 より良い生活習慣づくりを推進します。

- ・早寝、早起き、朝ご飯を推進します。
- ・テレビやスマホ、ゲーム等について家庭でのルールづくりを推進します。